

かつしか区議会 公明党 ニュース

平成29年
春号

平成29年第1回区議会定例会

質疑の内容は、次の通りです。(要旨)

黒柳じょうじ 議員
(代表質問)



1 平成29年度当初予算案について

問 | 平成29年度当初予算案について、区長の取り組み方および特徴はどのようなものか見解を伺う。

区長 | 最重要課題と位置づける待機児童解消に向け、一時保育スペース等を活用して受け入れる「待機児童緊急対策事業」をはじめ、保育人材確保のための保育従事職員宿舍借上支援や住宅手当助成、病児保育室の整備、通年型預かり保育の補助拡大など、子育て支援に積極的に取り組んでいく。妊娠期から就学前まで相談支援を行う「葛飾区版ネウボラ事業」や、区内の路線バスを妊婦が無料で利用出来る「マタニティパス」の発行など、子育てしやすいまちづくりにも力を入れていく。

2 シティセールス担当部長の新設について

問 | 葛飾区の良さや魅力を区内外に向けてアピールできると期待されるシティセールス担当部長の新設について区長の見解を伺う。

区長 | 広報誌やSNSを活用した情報発信など従前のシティセールスに加え、産業観光部などと連携し区の観光資源を紹介する広報番組や映像広報の作成、情報誌の発行など新たな取り組みにもチャレンジし、葛飾区観光協会などと連携しながら、本区の魅力を内外に積極的に発信し活性化していく。

向江すみえ 議員
(一般質問)



1 環境行政について

問 | 2020年東京オリンピック・パラリンピック二に向けて、本区のスポーツ活動の拠点である総合スポーツセンターなどを、花いっぱいのもちづくりの中心拠点と位置づけて事業を推進することを提案する。

環境部長 | 総合スポーツセンターなど人が多く集まる区有施設等に、花壇やコンテナガーデンに加え、フラワーモニュメントを重点的に設置していくことを含めて花いっぴいのもちづくり活動を更に推進していきたい。

2 「日本一の読書の街・かつしか」を目指して

問 | 葛飾赤十字産院併設の図書館は、併設のメリットを最大限に活かした事業展開をすべきと考える。具体的にどのような事業を考え、葛飾赤十字産院と協議していくのか伺う。

教育次長 | 葛飾赤十字産院併設の図書館では、その専門性を活かして、プレママ・プレパパへの絵本講座、プレ読み聞かせや産院スタッフによるセミナー等の開催のほか、図書館資料の病室への配送・回収なども検討し協議していく。

1 本区の不登校対策について

問 | 「不登校「0」の葛飾」を実現したいと願っているが、教育長の決意をお示し頂きたい。

教育長 | 全ての子どもたちが学校等に居場所があり、行くのが楽しみだと思えるような学校づくりを目指し、どんな状況下にある児童・生徒であっても温かく見守り続け、不登校児童・生徒「0」を目指していく。

2 バス路線の充実について

問 | 小菅地域の社会実験バスの運行は、本格運行に向けては生活圏域だけの運行で採算性を確保するのは難しいと考える。路線の拡張・行き先の延伸等、本格運行が開始されるまで、十分な協議・検討を重ね、地域の期待に応えられるよう、努力をして頂きたいと思うが、見解を伺う。

区長 | 地域の利便性向上の観点からみると、需要の多い施設や地域を結ぶルートは有効な方法の一つではあるが、経費の増加につながるということも考えられる。運行ルートについては、需要の見込みや経費のバランスなどを考慮し、また地域の方々の意見を伺いながら、より良いルートを検討していく。

上村やす子 議員
(一般質問)



平成29年度予算審査特別委員会

質疑の内容は、次の通りです。(要旨)

出口よしゆき 議員
(総括質疑)



1 公共施設のマネジメントサイクルについて

問 | インフラの維持・更新を進める上で、方法を見直し、効率化して基金に積み立てる費用を捻出することも考えなければならない。道路や公園の維持管理を一括で総合管理などに転換し、費用を抑制する事も必要と考えるが区の見解を伺う。

都市施設担当部長 | インフラの維持管理にあたっては、「対処療法型」から「予防保全型」に転換を図っていく。地域の実情等に応じ、清掃や除草などの複数業務について、民間に一括で業務委託する包括的民間委託など検討していく。

2 「子ども応援課」の設置について

問 | 東京都において、子どもの居場所創設事業の展開を考えているようだが、区ではどのように活用していくのか伺う。

子育て支援部長 | 都の子どもの居場所創設事業は、学習支援・居場所の提供などがある。区での展開は都における事業の推移を見ながら、民間との協働も視野に入れ検討する。